



小さなことを重ねることが、とんでもないところに行くただひとつの道
イチロー

2018年4月号 フォーラムだより

自立学習教室 あんどうフォーラム
～平成30年4月 2日発行～

<http://www.andu-forum.com>

☎ : 045-241-1854

●再び、AIとこれからの子どもたちについて●

これからの社会の姿や子どもたちの現状を「AI vs. 教科書が読めない子どもたち」（新井紀子著）という本から勉強しています。「人間が勝つために必要なこと—人工知能はすでに MARCH レベル—」という添え書きがついています。また、最近いろいろな塾の先生方から、今の子どもたちの様子を聞く機会が多いです。

ある先生は、「最近の子どもは舌足らずで、教室でも『先生、寒い!』としか言わない」だから敢えて「寒い?だからどうしたの?」と答えるそうです。

「今の子どもたちは『先生、教室の温度が低くて寒いので、エアコンの温度を上げてくれませんか?』というきちんとした日本語が言えなくなっているのではないかと憂慮されています。これに対する皆様のご感想はいかがでしょうか。

この本では、子どもたちの国語の読解力や表現力の低下が、数字として示されています。このような時代に、私はこれからの子どもたちにとって大切なことは、英語の4技能より「国語力」だと思えるようになりました。出口先生も講演会の中で、「英語より、論理力だ」とおっしゃっていた事を思い出しました。では、32年間英語を教えてきた私は何だったのだろうかと思いますが、必要論だけでは処理できない事もあります。今、言えることは「英語が使えると、楽しい。そしてコミュニケーションの幅が広がる」ということでしょうか。

今、既に、オフラインの自動翻訳機が発達していて、旅行先でも日本語をその器機に向かって話しかければ、現地言葉に直してくれる時代です。そんな時代において大切なことは、子どもたちを“i feel cold.”と英語でしゃべれるようにすることより、筋道立った日本語を使いこなせる人間に育て上げるのではないかと思います。

前述の本では、「Siri」に向かって、「この近くのイタリア料理店以外のレストランを教えてください。」という意地悪な質問をすると、対応できないと書いてありました。Siriとは、iOSで利用できる音声認識機能です。Siriを使って、iPhoneに保存されている情報から、Siriで話しかけた言葉に関係する情報を探ることができるそうです。もう上手に

利用されている方々もいらっしやると思います。私は、残念ながらまだそれほど上手に使いこなせてはいません。どんどんそのための優秀なアプリが開発されていますから、どんな質問にも対応できる日が近いうちに来るのではないかとはいえますが、まだまだ真に的確な捉え方には課題があると思います。

それで考えるのは、子どもたちにもこのような傾向があるような気がしています。頓珍漢な答えをしたり、話が通じなかったり、つまり、子供たちは文章の表面的なところしかとらえず、本質をじっくり考えないようになってきているのではないかと、ということです。皆様のお考えはいかがでしょうか。

あんどっフォーラムでは、このような実状に目を向けて、子どもたちの国語力や論理的思考力を大幅に高める教材を昨年夏より使用しています。子どもたちの国語力を何とか伸ばしたいと考え、教材の効果的な利用



色板 7 級 曲芸団 縮小課題



法を 幼児教育勉強会「ひまわり」のメンバーの先生たちと

「考える遊び」と「論理エンジンキッズ」の勉強会を始めました。毎月第3月曜日の10:00~12:00に集まっています。

これまで多くのお母さんたちとお話をしてきた中で、「しつけや勉強の様々な場面で、子どもにガミガミ言ってしまう」と悩んでおられる方がとても多いと感じています。これに対し、現在行われている教育改革のキーマンの一人である鈴木寛先生（文部科学大臣補佐官・東京大学教授）は「多くのお母さんたちが **20 世紀型のマインド** を持ち続けています。ちゃんとやりなさい病に罹患したままのお母さんが多い」と言われています。

鈴木先生の分析によると、今のお母さんたちが中高生だった 20 年前までは「ちゃんとやりなさい」というしつけや教育には、それなりに有効性があったそうです。今から 20 年前までの工業社会では、社会全体で「工場のラインを動かすために必要な人を育てる」ことが重要で、「遅刻やミスをせずちゃんとしている」ことが大事であるという価値観が学校にも家庭にもありました。

ところが、IT の進化は、人間の働き方そのものを変えてしまいました。これからの時代、これさえあれば人生安泰ということはどこにもなく、「自分はこれをやってみる」という

試行錯誤の繰り返しの中で、自分なりの答えをつかんでいくしかない時代です。「こうした時代に親がすべきことは、わが子の「見守り隊」になって、徹底的にわが子を観察し、わが子が何に興味をもち、何に不向きなのかを見抜き、わが子が興味を持ち、得意なこと、やりたいと思っていること、好きな事を伸ばすために必要なものを適切なタイミングで提供してやることでしょう。

重要なことは、「これからの時代に必要なのは英語とプログラミング」というように、習い事を増やすことではなく、「この子はどんな勉強が好きなのか」「どんな遊びが好きなのか」「どんな言葉をかけると、嬉しそうに目を輝かせるのか」その子をよく観察し、その子のなかにある才能が発揮できるよう、親自身が教えるのではなく、見守り、サポートに徹することではないかと思えます。塾での指導においても、ついつい口を出してしまいがちですが、最近は、「なぜそうなるの?」「どういうことなの?説明して」としつつ子どもに質問して彼らのアウトプットを促しています。

そんな時、子供たちは、決して「面倒くさい」とは言いません。聞かれれば答える用意はあるのです。ただ慣れていないから、時には、無言でしばらく考えてから、時には、滔滔と理由を教えてくれたりします。また、時には同じことを繰り返したり、はじめのうちは結論がはっきりしなかったりしますが、、、もしかしたら違っているかも知れないと思うこともあるかもしれません。けれど、彼らはアウトプットを決して苦手としてはいません。大勢の前でのアウトプットは、確かにすぐにはできないかもしれません。小集団の中ではできる子のほうが多いのです。簡単に、「わからない」と答える子には、友達の答えをたくさん聞かせ、考える入り口に立たせてあげればいいのです。たくさんの経験をする事で、磨かれていくものと期待して、たくさんの質問を子どもたちに投げかけています。

「魔法の質問」の著者であるマツダミヒロさんのお話を聞きました。彼は毎日一つだけ、質問を発信し続けたそうです。数年立つと、関心を持ってくれた人たちからの要望でいつの間にか、「質問」が仕事になっていたのだそうです。セミナーの中で不思議なワークをやりました。参加者全員が5つの課題・質問に答えたカードを提出し、ばらばらにしたカードを5枚もらい、それを持って自分のカードを取り戻すべく、自分がしたいこと、そのために何が必要かなど質問しあいながら、その質問に必要なカードを持っていたら、渡してあげる。こうして、見ず知らずの人同士、たくさん質問をし合っていると、知らない人でも共通点を発見したりする。質問は人を知る早道のようなのです。

幼児教育に限らず、教育とは未来を生きる子ども達の未来に生きるに必要な能力を育てるものだと考えています。人類史上初めての第4次産業革命といわれるAI時代がどんな時代なのかかわからないのは、大人も、子どもも同じです。しかし、大人と違って、子ども達は、どっぴりとAI時代で生きて生活するのです。もはや、第1次産業革命から第2次産業革命を通過して第3次産業革命の情報化社会なのです。

欧米では、学校教育は、第3次産業革命に対応して、変革しているのに、日本では、いまだに、第2次産業革命時代の読み、書き、計算、知識の教育。情報化社会では、ITであるスマホがあれば、それらは、不必要になっています。検索すれば出てくるのです。

未来に生きるために必要な能力は、第2次産業革命時代の能力で生きてきた大人達には、どんなものか、わかるはずもないのです。子ども達は、未来を自分達の能力で切り開くしかないのです。過去の知識や技術ではなく、新しい知識や技術を創り出す能力を自らの手で生み出すしかないのです。私たちに、できることはそれができる環境を作ってあげることでしょう。人類史上、かつてなかった情報化社会とは、高い知性が必要な社会で、基礎学力の充実〔はもちろん必須です〕におわることなく、高い知性をいかに育てるかが、教育の目的になるでしょう。AIに太刀打ちできないことはAIに任せ、AIにできないことを創造することが必要です。

私たち大人も、これからの時代に必要なものを共に学んでいかなければと考え直し、先日、ラインの使い方を中2生に教えてもらいました。幼児・小学生の能力を最大限に伸ばすために、塾と家庭ががっちりタグを組んで、こどもたちと共に、成長していきましょう。私も 時間をつくって（それで、昨年のように、ご迷惑をおかけするかもしれませんが）キャッチした学びの場には極力参加して、みなさんにその情報をシェアしていこうと考えています。昨日のセミナーではインスタグラムの面白さを学びました。近いうちに発信できるかな？

第1回子育てカフェ

子育て健康セミナー

日時 4月27日(金) 13:00 ~ 16:00

第1部 ReMOVE Stretch 体験

*体を動かしやすい軽装でお出かけください。

第2部 水素水でお茶しましょう

*Anduの不思議水素水体験

*子どもの健康の現状・心配に思っている事などを出し合いながら、参加者みんなの知恵をシェアしましょう。(費用 無料)

そのために、勉強会「ひまわり」の活動のひとつである **子育てカフェ**をやっと開催する運びとなりました。第1回は子どもたちの揺るぎない「健康」作りのヒントとしてReMOVE Stretchというグループで活動されている**渡辺登代美さん**に体



のゆがみをとる体操を教えてください。まずは親自身の健

康づくりからです。登代美さんは私がエゴスキューをやっていた頃からの知り合いで、健康に関する深い造詣をお持ちです。体操・水の話・そのほかに健康に繋がるさまざまな道具や食品など、いろいろな興味深いお話をきけるとおもいます。是非今から予定を調整してご参加ください。準備の都合上、4月20日(金)ぐらいまでにお申し込みいただけるとありがたいです。お申し込みは ando@himawari-child.net またはラインで。

●4月・5月の行事予定●

4月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	★7日土曜日休塾→21日休塾に変更				

5月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

温かい日が増えました。もうすっかり春ですね。教室の周りにもいろいろな花が咲きました。今年は黄色の花が満開です。



<ミモザ・あせび・ゆきやなぎ>

↑この木何の木？ 実になる木!

去年イベントに参加した人はわかるはず。ピンクの花をたくさん咲かせています。さくら？ うめ？ いえいえ、これはアンズです。たくさんの花をつけ、今年もたくさんアンズジュースが作れそうです。

果樹の木も芽を吹き、つぼみをつけているものもあります。りんご と キュウイ と ブルーベリーの芽（葉）ですが、それぞれどの写真が該当するでしょうか？

さあ、入学、進級の時が迫りました。あんどろフォーラムではすでに3月から、新しい学年の勉強を始めています。本格的に新年度の学習の始まりです。

